

【 投薬 】

307 爪白癬治療剤の一処方3月分の投与量について

《令和6年9月30日》

○ 取扱い

一側の手又は足に対する次の爪白癬治療剤の一処方3月分の投与量は、原則として6本まで認められる。

- (1) ルリコナゾール外用液（ルコナック爪外用液） 3.5g（4mL）
- (2) エフィナコナゾール外用液（クレナフィン爪外用液） 3.56g（4mL）

○ 取扱いを作成した根拠等

ルコナック爪外用液とクレナフィン爪外用液は、添付文書の用法・用量に、「1日1回罹患爪全体に塗布する」と記載されているが、具体的な使用量については明記されていない。一方、クレナフィン爪外用液の製造販売元ホームページ「製品情報・FAQ」に「国際共同第Ⅲ相試験（DPSI-IDP-108-P3-01）において、クレナフィンを塗布した患者の平均罹患爪数は3.8枚、2週間の平均使用量は約2.5mL」である旨、記載されている。このため、一側の手又は足の使用量は、2週間分で多くとも1本、3月分で6本までが妥当と考えられる。

以上のことから、一側の手又は足に対する上記(1)(2)の爪白癬治療剤の一処方3月分の投与量は、原則として6本まで認められると判断した。